

## 評価結果概要表

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870201237
法人名	社会福祉法人 成寿会
事業所名	グループホーム関前
所在地	愛媛県今治市関前岡村甲2574 - 3
自己評価作成日	平成21年10月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月19日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の生活の中で、できる力が活かせる様に支援している。またご家族との関係も大切に生活の様子を1日ごとに記録し請求書と一緒に送付する。面会時には気付きや体調の報告を積極的に行うようにし安心感を持って頂く様にしている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

浴槽は、桧風呂で浴室には大きめの窓があり、海が眺められ、景色を見ながら日中に入浴される方が多い。利用者は、職員と歌を歌ったり、おしゃべりしながら入浴を楽しまれている。

マヨネーズがお嫌いな方には、塩コショウで味付けされたり、おやつはホットケーキを焼く等、利用者の希望も採り入れておられる。食後、食器拭きをされている方が見られた。月に1回「パン教室」があり、パン作りの上手な職員が、バレンタインにチョコを使用してパンを作る等、季節に応じたものを利用者と一緒に手作りされている。

法事にご家族と出席されたり、近所の方が利用者の好きな缶コーヒーを持って訪ねてくださることもある。お友達やお孫さんにお手紙を書く際には、職員がサポートされている。

### ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム関前

(ユニット名) めばる

記入者(管理者)

氏名 安藤 ゆかり

評価完了日 21 年 10 月 15 日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			玄関など分かりやすい場所に理念を掲示し、また毎朝の朝礼にて職員全員で唱和している。毎月のカンファレンスの際には個々の状態に応じ理念を踏まえて検討している。	
			(外部評価)	
			理念に「今までの暮らしの尊重」「本人のできる力を活かす生活」を掲げて、玄関や職員の休憩室に掲示されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			行事、地域参加に声をかけて頂く度、積極的に参加し、散歩の際には挨拶をかわし声をかけて頂くが訪問や立ち寄ることまでには至っていない。	
			(外部評価)	
			「離島開発センター」で行われるクリスマス会に利用者と参加し、地域の方達とともにゲームやくじ引きをして楽しまれた。地域の「亥のご祭り」や「獅子舞」は、事業所に来てくれ、利用者に喜ばれている。	地元からの職員から地域の情報を得て、地域行事に参加する機会が多くなっている。管理者は、保育園・小学校・中学校との交流や、地域と交流する機会を増やしていきたいと考えておられた。又、お祭りの際等に地域の方が来られた時、事業所のことを知ってもらったり、接待をして関係を作っていきたいと話されていた。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議以外では難しい面あり。見学は自由に開放している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>最近では民生委員の方もメンバーになれるが地域住 民の参加がもう少し必要かと思われる。</p>	<p>管理者は、現在の会議のメンバーから地域とのつな がりを広げていきたいと考えられている。又、行政や自 治会から情報を教えてもらったり、介護講習等も依頼 があれば行いたいと考えておられた。事業所のことを さらに知ってもらえるような会議となるよう、取り組 みをすすめていかれてほしい。会議を活かして事業所 のさらなるケアサービスの質向上につなげていかれて ほしい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>会議では、事業所から行事の報告や事故報告等を行っ ておられる。地域のことを教えてもらえるよう、民生 委員の方にも出席をいただいている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議にメンバーとして参加して頂いている。 緊急時の体制など色々相談に乗って頂いている。</p>	<p>緊急時の対応について相談されたり、地域との交流に ついて相談しておられる。又、社協と合同でクリスマ ス会を行い、地域の子供たちと利用者との交流ができた。</p>
			<p>(外部評価)</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の状態に応じ検討し安全な生活が出来るよう工夫 し対応している。身体拘束は行っていないが夜間は玄 関施錠している。</p>	<p>拘束についてのマニュアルを整備して、管理者は職員 の声かけや対応等で気になるような時には注意されて いる。法人内の身体拘束についての研修時には、資料 や申し送り等で全職員に周知できるようになっている。</p>
			<p>(外部評価)</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  カンファレンスや朝礼などで職員の意識付けに努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  今までに必要な利用者おらず行っていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  契約時にはしっかりと説明を行い又、家族の意見も聞き対応している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会者にアンケートをとり意見を求めている。またご家族が面会に来られた際、直接意見も聞きサービス向上に努めている。	
			(外部評価)  管理者は、利用者一人ひとりの日々の様子をお便りにして、毎月家族に送付されている。立地条件もあり、ご家族の来訪も少ないようであり、面会者には、アンケートで事業所についてご意見を聞くようにされているが、なかなかご意見は聞けないようである。	事業所では「家族と共に」取り組みをすすめていきたいと考えておられる。今後、現在のアンケートの問い等の工夫や運営推進会議の案内をしたり、行事時にもご家族と交流を深め、要望等を聞ける関係作りに努めたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	日々の業務の中で、でてくる意見を聞くようにし、またカンファレンスで検討する機会を持っている。
			(外部評価)	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	賞与査定を行い業務に意欲のある職員に反映できるようにしている。月に1度、経営者の視察があり職場環境等の評価、改善を行っている。
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	法人内では2カ月に1回行っている。外部研修についてはできてないので、これから参加するよにしたい。
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	行事参加等で一緒に過ごす機会はありませんが勉強会等には至っていません。
			(外部評価)	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	ゆっくりと、あせらず傾聴することに努めている。
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の心配事や不安を取り除けるよう、しっかりと意見を聞き又、入所後のご様子の電話連絡も忘れないようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>法人内で連携を取り適切なサービス利用に努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>出来る力の発揮の場を提供し、またその中で知識や経験を尊重し取り入れ一緒にいき一緒に時間を共有できるようにしている。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>面会の際には声をかけ状態の報告を行い、また毎月、「日々の生活の様子」を送付し疎遠にならないように支援している。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>受診時、馴染みの方との言葉掛け。馴染みの地域で暮らせるように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法事にご家族と出席されたり、近所の方が利用者の好きな缶コーヒーを持って訪ねてくださることもある。お友達やお孫さんにお手紙を書く際には、職員がサポートされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日々の生活のリズムを観察し穏やかな生活が過ごせるよう支援している。状況に応じ声掛けにも配慮している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 法人内でのサービスであれば行事参加を促しかかわりを継続している。法人外では困難な面もあるが、ご家族の電話連絡や相談を行っている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中で利用者の思い意思や行動を汲み取るようにし、生活の中で取り入れるよう行っている。又カンファレンス等でも検討を行う。 (外部評価) 職員は、利用者との日々の会話等から暮らしの希望を聞き取っておられ、実現に向けて取り組みをすすめておられる。「畑でサツマイモを育ててはどうか」と利用者から提案があり、実際にご本人が苗を植えて育て、収穫して焼き芋にして皆で食べたこともあった。	事業所では「本人のできる力を活かす生活」を理念に挙げて、取り組みをすすめておられる。職員の利用者へのかかわりを工夫して、さらに、利用者一人ひとりのこれまでのことやご家族への思い、ケアサービスへの要望等を具体的に引き出しケアにつなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 担当のケアマネージャーからの情報や本人、ご家族からの話を大切に聞くようにしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々状態の変化を観察し把握し又センター方式の書類に記入しカンファレンスに役立てている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各ユニット職員にてカンファレンスを行い意見を出し合い検討し統一したケアが出来る様に努めている。一覧表を作り各ユニットに貼っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「生活援助計画」を介護日誌の表紙に貼って日々記録している。モニタリングは毎月行い、職員全員で意見交換して見直しされている。病院を退院後は、医師の助言も採り入れ計画を立てておられる。ご家族の来訪時等には、計画の内容を見ていただいている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子、状況を個人ケースに記録している。散歩や入浴に関した職員にしか分からない気づき等もバイタル表備考欄に記入し申し送りやケース記録に漏れない様にしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>体調の急変時の受診、定期受診の対応等、ご家族の付き添いが困難な事が多い為行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の祭り、行事には積極的に参加している。地域の幼稚園、小学校に慰問のお願い。中学校に体験学習のお願いなどの働きかけを行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>通い慣れたかかりつけ医の受診を継続できるよう支援 している。ご家族の付き添いが困難な事が多い為、通 院介助、定期受診の付き添いを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は広島県に近い島であり、広島県から入居され ている利用者も多い。島内のかかりつけ医に定期受診 に行く時には、職員が同行されており、呉市の病院で 診てもらう際にはご家族が付き添うようになっている 。又、緊急時には、ご家族の要望もあり、呉市の病 院に搬送できるように消防署とも検討中である。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>訪問看護ステーション等には利用していないが、かかり つけ医の看護師とは受診の際などに積極的にアドバイ スを頂いている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院の際には必ず付き添い生活の様子などを細かく報 告、退院後も分からないことがあれば入院先の病院へ 連絡を行い状態の把握を行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的にもとりは行っていないが緊急時の体制、対応 についてはご家族に説明し地域の協力を得ながら支援 に取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>医療が必要になれば退居となる事を、入居時、ご家族 に説明されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  緊急時のマニュアルを作り通報訓練を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  消防署に協力を得て利用者と一緒に訓練を行っている。	
			(外部評価)  年2回、消防署の指導のもと避難訓練を行っておられる。現在、事業所では、「防災台帳」を作成中で避難場所や連絡網も載せておられる。島内の市の支所に連絡すると、地元消防団の方に連絡が入り、駆けつけてくれるようになってきている。避難訓練を行い、職員は、「慌てず冷静に対応しないといけない」と感じておられた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  対応が気になった時はその場で助言や注意を行い十分に意識付けを行ってもらうように取り組んでいる。	
			(外部評価)  職員は「利用者の立場になった対応」を日頃より心がけている。利用者の呼び名も「～さん」と呼ぶようにされていた。  居間から見えるところのトイレの扉を開けたまま利用者が使用することもあるようだが、ご本人のプライバシーを守るという点から配慮が必要ではないだろうか。この機会に、日々のケアの中でも職員同士で点検されてはどうだろうか。職員の気付きをきっかけにして、ケアの質向上に取り組んでいかれてほしい。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  日々の暮らしの中で利用者と積極的に会話をして小さな事でも利用者の意思を尊重している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 業務を優先せず意思を尊重し、その人らしさを大切に支援できるように努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 毎朝の身だしなみは個人に合わせて行う。介助を要する方には声かけをしっかりと行い出来る力を発揮して頂けるように行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 状態に合わせて出来る力の発揮の場の提供として食事準備の参加を心がけ、準備や片付けをお願いしている。	
			(外部評価) 法人の栄養士が献立を作成して、食材が届くようになっている。個々の状態に合わせて、刻み食・とろみを付ける・おにぎりにする等、対応されていた。マヨネーズがお嫌いな方には、塩コショウで味付けされたり、おやつはホットケーキを焼く等、利用者の希望も採り入れておられる。食後、食器拭きをされている方が見られた。月に1回「パン教室」があり、パン作りの上手な職員が、バレンタインにチョコを使用してパンを作る等、季節に応じたものを利用者と一緒に手作りされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の摂取量の記入チェックを行っている。摂取状態に応じ量や食事形態等の検討、変更を行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) チェック表を記入し確実な毎食後の口腔ケアに努めている。状態に応じた口内ケアの対応。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	24時間を1時間単位に区切りその中でも4区分に分けて誘導を行い排泄状態が分かるよう記号で分けている。トイレ誘導のタイミングにも役立っている。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	運動を増やしたり腹部マッサージの実施、水分補給もしっかりと行い便秘予防を行っている。又、主治医にも相談し服薬コントロールを行っています。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	大まかには決まっているが利用者の希望に合わせて随時対応している。体調不良者には清拭や足浴で対応している。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	夕食後から就寝までの時間にゆとりを持ち個々のペースに合わせるよう行っている。安眠を促す為、足浴等も積極的に行っている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の説明をファイルし病院ごとに仕分けを行っている。また処方に変更があれば、その都度、申し送りノートにも記入し情報を共有している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 役割が義務的にならないよう楽しみながら達成感を味わって頂けるよう工夫している。声かけにも配慮し希望を聞き入れ楽しみ気分転換に繋げている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 日々の散歩や地域行事に参加している、季節に応じドライブにも出かけている。	
			(外部評価) 週に一回、移動スーパーが音楽を流しながら来てくれ、利用者もおやつ等を買物されている。港近くの神社に、散歩に出かけている。通院時ドライブされることもある。	職員は「日々のお散歩や外出の機会を多く作り、利用者の楽しみを増やしたい」と考えておられた。管理者も気候やインフルエンザ等にも気を付けながら、個別の外出の機会も増やしていきたいと考えられていた。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小額の小遣いをご家族に契約時に説明し預り、預かり帳つけて預っている。自己管理希望者には自己管理をして頂いている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。 制限はしていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>カーテンやブラインドを使用し状態に応じ調整を行っている共同のフロアーには季節おりおりの作品や行事の写真を飾り楽しい場になるよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>海に面した「バルコニー」や居間には畳のスペースがあり、利用者がくつろげる場所となっていた。利用者のお好みの場所に椅子を置いて過ごされる方もあった。ご自分のお部屋が分かりやすいように、個々の部屋のドアに利用者個々に飾りを付けておられた。居間のテーブルでは、趣味の刺繍や編み物をされる方や、おしゃべりを楽しまれている方も見られた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ベランダには椅子とテーブルを置きいつでも使用できるようにしている。リビングに椅子を置きいつでも座り他者との会話が楽しめるようにしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>持ち込み自由なので、利用者自身や、ご家族にも馴染みの物を持ってこられるよう積極的にお願している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族との写真や、ぬいぐるみを飾っている方がいる。ご本人の希望で畳を敷いておられる方もある。入居前に作った陶芸の作品を数多く持って来られている方もあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>建物はバリアフリーとし、廊下、トイレ、浴室等は手すりを付けている。</p>	